



会場内や沿道の石積み花壇に咲いた花々



↑テープにはさみを入れる、はなちゃんら関係者



↑ちびっこたちに人気のキャラクターショー

夢追い長島花フェスタ開幕

島に彩り添える花街道

長島に春を告げる第5回夢追い長島花フェスタが、3月28日開幕しました。

合併10周年記念事業の一つである同フェスタは、5月6日まで開催され、サンセットの丘や川床ふれあいの郷、ぐるっとフラワーロードを会場におよそ110種50万本の花々が訪れた来場者らを魅了しています。

好天に恵まれた開幕日。午前9時からのオープニングセレモニーでは、飯田満穂実行委員長が「期間中の40日間で、町内外から多くのかたにお越しいただき、長島の春を楽しんでもらいたい。町民一丸となって、おもてなしの心で迎えましょう」とあいさつ。川添健町長は「平成27年度の最初のイベント。長島の総合力を発揮し、町を盛り上げましょう」と述べました。

テープカットには、同フェスタキャラクターのはなちゃんも飯田実行委員長らと参加し、華やかに幕を開けました。

オープニングイベントとして、午前10時から午後2時からの2回、子どもに人気の「薩摩剣士隼人と県のマスコットキャラクターぐりぶー、さくらによるコラボショー」が行われました。人気のショーにたくさん親子連れが会場を訪れ、笑顔を見せました。

花カフェがオープン2周年

翌29日には、川床ふれあいの郷「花カフェ長島」のオープン2周年を記念した花カフェマーケットを開催。町の特産物や花の苗を販売したほか、牧公民館の「ふれあい商店」が開店し、地元で獲れた海の幸、山の幸が販売され、にぎわいを見せました。

このほか、あかね太鼓による演奏が行われ、来場者らは曲に合わせて手拍子を鳴らし、楽しみました。



←にぎわいを見せるふれあい商店